

国道 138 号拡幅に伴う周辺地域まちづくり検討委員会(第 2 回) 議事内容

日時：平成 26 年 3 月 25 日(火) 10:00~12:00

場所：富士吉田市民会館 3 階 市民ギャラリー

■委員会出席者

慶應義塾大学環境情報学部 准教授	中島 直人 (委員長)
新屋連合自治会 連合自治会長	堀内 和男
上宿連合自治会 連合自治会長	渡辺 則明
中宿連合自治会 連合自治会長	渡邊 稔
下宿連合自治会 連合自治会長	藤本 建治
中曾根連合自治会 連合自治会長	渡辺 修
富士吉田商工会議所 専務理事	佐藤 文彦
富士急行株式会社 代表取締役社長	堀内 光一郎 (代理：土屋)
財団法人 ふじよしだ観光振興サービス 常務理事	滝口 明
富士吉田市企画総務部 部長	権正 文雄
山梨県富士東部建設事務所吉田支所 支所長	高井 達也 (代理：深澤)
山梨県県土整備部道路整備課 課長	大久保 勝徳 (代理：萩原)
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所 事務所長	吉岡 大藏

■議事内容

まちづくりの方向性 (案)、重点検討区間の整備方針についての意見交換

■意見集約

- ①地域の歴史・文化資源の中で何を大切にしていくかを共有し、まちづくりの方向性を定め、具体的施策を検討する必要がある。
 - ・ 世界遺産構成資産が集中するエリアとして、世界遺産を守る景観づくり等の方向性
 - ・ 浅間神社や御師のまちなみ、金鳥居などの歴史性や地域性の共有
 - ・ 地域づくりや観光等を見据えたまちづくりの具体的施策の検討
- ②まちづくり・道路事業のスケジュールを示す時間軸の整理が必要である。
- ③拡幅によりコミュニティが分断されないよう、地域住民、歩行者優先で考える必要がある。
 - ・ 浅間神社前の平面横断方法の検討
 - ・ 沿道との段差処理方法の検討
- ④今後、地域ごとにワークショップ等を開催して、地元の意見を集約するプロセスが大事である。

